(略称)オーストラリアとの友好協力基本条約

昭和五十二年 昭和五十二年 昭和五十二年 昭和五十二年 昭和五十二年 昭和五十一年 八 七 七 七 五 月二十 月二十八日 月二十一日 月 月 月 <u>-</u>+ <u>+</u> 日 日 H 日 効力発生 第一八二号) 公布及び告示 キャンベラで批准書交換 批准の閣議決定 国会承認 東京で署名 (条約第三号及び外務省告示第一八一号

四〇

条約の目的…………

Ħ

次

オーストラリアとの友好協力基本条約

第 第 第 第 第 前

六

条

五四三

経済、

条 条

GATT等の多数国間協定の目的及び原則に従った協力……………

条条条

$\stackrel{\mathcal{H}}{\circ}$	末 文
四 九	3 「会社」の定義
四 九	2 GATT、IMF協定、OECD条約等における権利及び義務への影響
四七	1.条約のいかなる規定によっても与えなれない待遇、特恵又は特権
四七	前 文
四七	○議定書
四六	末 文
四六	第十四条 批准、効力発生及び有効期間
四六	第十三条 現行諸協定の効力に及ぼす影響
四六	第十二条 条約に関連して生ずる問題についての申入れ及び協議
四五	第十一条 条約の一般的運用状況の検討
四 五	第 十 条 海運を発展させるための協力促進
四五	6 特定の会社に対する待遇
四四	5 「国民」の定義
四四	4 財産の収用及び補償
四四	3 事業活動及び職業活動についての待遇
四四四	2 裁判を受ける権利
四四	第 九 条 1 身体及び財産の保護及び保障
四三	第 八 条 出入国、滞在、居住及び旅行に関する待遇
四三	第 七 条 資本及び技術の交流についての協力
	オーストラリアとの友好協力基本条約

オーストラリアとの友好協力基本条約

日本国とオーストラリアとの間の友好協力基本条約

日本国及びオーストラリアは、

を希望し、ともに、この関係を一層緊密かつ具体的な基礎の上に置くことともに、この関係を一層緊密かつ具体的な基礎の上に置くことをでいる。

ることを認め、
ること及び両国の国民の福祉の間に緊密かつ永続的な関連があること及び両国の国民の福祉の間に緊密かつ永続的な関連があること及び両国間の広範にわたる関係がそれぞれの国にとつて重要であ

対して果たしている有益な貢献を増進することを希望し、種々の分野における両国間の現行の諸協定が両国間の関係に

両国間の関係を、長期的な展望に立つて衡平なかつ相互に有ることを決意し、理解の精神に基づいて協力するための一層広範な機会を提供す化その他の分野における相互に関心のある事項について、相互の国の政府及び国民が、政治、経済、貿易、通商、社会、文両国の政府及び国民が、政治、経済、貿易、通商、社会、文

なければならないことを認識し、栄及び福祉に対する両国の共通の関心をも念頭に置いたもので、大人の福祉に対する両国の共通の関心をも念頭に置いたもので、大田では、大田の相互の利益のみならず、一田が一部では、一田の相互の利益のみならず、一田が一部では、一田の相互の利益のみならず、一田が一部では、一田の相互の利益のみならず、一田が一部では、

確信し、

利な基礎の上に強化し及び多様化することが重要であることを

しかつ一層促進する条約の締結が、両国間の関係の一層の発展一両国政府間及び両国の国民の間の友好及び協力を公式に具現

ス

۲

ラリアとの友好協力基本条約

BASIC TREATY OF FRIENDSHIP AND CO-OPERATION
BETWEEN JAPAN AND AUSTRALIA

Japan and Australia,

Affirming the spirit of friendship and cooperation on which relations between the two countries are based, and wishing to place their relations on an even closer and more concrete basis,

Acknowledging the importance to each country of the wide-ranging relationship between them and the close and enduring connexion between the well-being of their peoples,

Wishing to enhance the valuable contribution to their relations made by the existing agreements between the two countries in various fields,

Resolved to provide wider opportunities for their governments and their peoples to work together in a spirit of understanding on matters of mutual interest in the political, economic, trade, commercial, social, cultural and other fields,

Convinced of the importance of strengthening and diversifying their relations on an equitable and mutually advantageous basis in a longterm perspective,

Recognising that co-operation between the two countries should have in view not only their own mutual benefit but also their common interest in the prosperity and welfare of other countries, including those in the Asian and Pacific region, of which they are part,

Convinced that the conclusion of a Treaty

which formally embodies and further advances, the friendship and co-operation between the

を容易にすることを確信し

とおりそれぞれの全権委員を任命した。 友好協力基本条約を締結することに決定し、 とのため、 次の

日本国

内閣総理大臣 三木武夫

オー ストラリア

良好妥当であると認められた後、次のとおり協定した。 とれらの全権委員は、 内閣総理大臣 ジ 互いにその全権委任状を示し、 ョン・マ ルコム・フレー ı それ が

条

1 びその国民の間の永続的な平和及び友好とする。 日本国とオーストラリアとの間の関係の基礎は、 両国間及

2 とする。 により、両締約国間の関係を拡大し及び強化することを目的 及び相互に関心のある事項についての協力を発展させること この条約は、 特に両国間及びその国民の間の理解を促進し

3 締約国間で更に協定を締結することができる。 つていない事項を含む。)について、必要なときはいつでも両 われている事項又はその他の事項 .合致するものであることに留意しつつ、この条約で 両締約国は、 両締約国間に存在する諸協定が2にいう目的 (現行の諸協定の対象とな 取り扱

> their relations, will facilitate the further development of governments and peoples of the two countries

pose have appointed as their Plenipotentiaries: Friendship and Co-operation and for that pur-

Have resolved to conclude a Basic Treaty of

Japan: Takeo Miki,

Prime Minister,

Australia: Minister, John Malcolm Fraser,

have agreed as follows: full powers, found to be in Who, having communicated good and due form, to each other their

ship between the two countries and their Australia shall be enduring peace and friend-1. The basis of relations between Japan and peoples.

co-operation on matters of mutual interest. countries and their peoples and by developing 3. The Contracting Parties, noting that the promoting understanding between the two the Contracting Parties, in particular by be to extend and strengthen relations between 2. The objective of the present Treaty shall

on other matters, including those not covered by the existing agreements. on matters dealt with in the present Treaty or tent with the objective expressed in paragraph agreements existing between them are consisagreements between them, wherever necessary, 2 of this Article, may enter into further

関 するととにつき、 係 両 の重要性を認識するとともに、 締約国は、 国際社会における諸国間の平和的かつ友好的 国際連合憲章の原則に従つて、 との関係を維持 相互に協力す しかつ強化

第三条

1 技術、 促進する。 及び多様化するように努める。このため、 物の交流その他の適当な活動を実行可能な限り奨励し、及び らの分野において、適当な研究及び調査、情報、 ある分野において、 両締約国は、 社会、文化、 政治、経済、 職業、 相互の理解及び協力を容易にし、 スポーツ、 労働関係、 環境等の相互に関心の 人権、 両締約国は、 法律、 知識及び人 強化し とれ 学、

2 互の理解及び協力を発展させる。 機関であつて両締約国が共に加盟国であるものにおいて、 両締約国は、 また、 1にいり分野のいずれかに関する国際 相

3 国は、 つでも協議する。その際、 せるに当たつて、 両締約国は、1及び2にいら相互の理解及び協力を発展さ 1及び2にいう分野の事項に関して、 相互に緊密に協調する。とのため、 適当な場合には、 必要なときはい 現行の諸協定又 両締約

オ

1

ストラリアとの友好協力基本条約

ARTICLE II

ing those relations. United Nations in maintaining and strengthenwith the Principles of the Charter of the shall co-operate with each other in accordance among countries in the international community, importance of peaceful and friendly relations The Contracting Parties, recognising the

activities. knowledge and visits, and other suitable study and research, exchange of information, to the fullest extent practicable, appropriate shall encourage and promote in these fields, fields. To this end, the Contracting Parties professional, sporting and environmental tific, of mutual interest as the political, economic, understanding and co-operation in such areas facilitate, strengthen and diversify mutual labour relations, human rights, legal, scien-1. The Contracting Parties shall endeavour to technological, social, cultural,

whenever necessary, on matters in the fields referred to in paragraphs 1 and 2 of this this end, they shall hold consultations, to in paragraphs 1 and 2 of this Article. mutual understanding and co-operation referred closely with each other in developing the The Contracting Parties shall collaborate concerned with any of the fields referred Contracting Parties are members and which are international organisations of which both mutual understanding and co-operation in those 2. The Contracting Parties shall also develop paragraph 1 of this Article. to in paragraphs 1 and 2 of this

とが相互

の利益であることを認識し、

公正かつ安定的

な基礎

の上に両国間の貿易の一層の拡充及び発展を促進する。

国にとつて安定的なかつ信頼し得る供給者及び市場であるこ

は諸取 極 に規定されている方法を利用する。

ーストラリアとの友好協力基本条約

~四条

基本的に重要であることを認識する。両締約国は、このた ある多数国間協定の目的及び原則に従つて、 開発機構条約及び両締約国が共に当事国であるその他 関税及び貿易に関する一 上に継続的に拡大することが、 締約国は、 国際貿易が開放的、 般協定、 世界経済の健全な発展のために 国際通貨基 多角的かつ無差別の基礎 相互に協力する。 金協定、 の 経済協力 り関連の め、 0

第 五 条

2 1 間 基礎の上に強化し及び発展させることにつき協力する。 の関係の重要性を認識し、この関係を相互の利益及び信 闸 各締約国は、 締約国は、 **両国間の貿易に関し、それぞれの国が他方の** 経済、貿易及び通商の分野における両締約国 頼

> arrangements. means provided for in existing agreements or Article, making use, where appropriate, of the

ARTICLE

continuous expansion of international trade on ples of the General Agreement on Tariffs and Trade, the Articles of Agreement of the Intershall co-operate with each other to this end, sound development of the world economy. basis is of fundamental importance for the an open, multilateral and non-discriminatory are parties. agreements to which both Contracting Parties Development and other relevant multilateral Organisation for Economic Co-operation and national Monetary Fund, the Convention on the in accordance with the objectives and princi-The Contracting Parties recognise that the

shall promote the further strengthening and reliable supplier to and market for the other, mutual interest in each being a stable and 2. In respect of trade between the two counttrade and commercial fields, shall co-operate development of trade between the two countries ries, each Contracting Party, recognising a in strengthening and developing those relations importance of their relations in the economic, 1. The Contracting Parties, recognising the the basis of mutual benefit and trust. ARTICLE

協つびの鉱 の開発易 のに のに のに 及源

資源の貿易及び開発について協力する。 源が重要であることを認識し、前条の規定に従つて、これらの 両締約国 は、両 |締約国にとつてエネルギー資源を含む鉱物資

第六条

第七条

び原則に従い、 ることができ、 の交流について協力する。 而締約国 は、 かつ、相互に利益となる態様で、 かつ、第五条の規定に従つて、相互に受け入れ 両締約国が共に当事国である国際協定の目的及 資本及び技術

第八条

1 あつてはならない。 他方の締約国の国民と第三国の国民との間で差別的なもので を与えるものとし、この待遇は、 る旅行及び当該領域からの出国に関し、 入国、 各締約国は、 当該領域内における滯在又は居住、 他方の締約国の国民に対し、 いかなる場合においても、 公正かつ衡平な待遇 当該領域内におけ 自国 の領域への

りに努める。 (a)

各締約国は、

次に掲げる事項に関する手続を簡素化するよ

他方の締約国の国民の自国の領域への入国

ストラリアとの友好協力基本条約

(b)

他

方の締約国の国民の自国

の領域

からの出国

cluding energy resources, shall co-operate in

The Contracting Parties, recognising the

ARTICLE VI

in accordance with the provisions of Article the trade in and development of those resources importance to them of mineral resources, in-

mutually acceptable and beneficial manner. provisions of Article V, shall co-operate in are parties and also in accordance with the agreements to which both Contracting Parties the exchange of capital and technology in the objectives and principles of international The Contracting Parties, in accordance with

ARTICLE VIII

other Contracting Party and nationals of any within and departure from its territory, entry into, sojourn or residence in, travel be discriminatory between nationals of the provided that in no case shall such treatment and equitable treatment with respect to their nationals of the other Contracting Party fair 1. Each Contracting Party shall accord to the country.

- simplify its procedures relating to 2. Each Contracting Party shall endeavour to
- 9 (a) the entry into its territory of nationthe departure from its territory of of the other Contracting Party;

償用財 遇い活及事 け裁 障護財身 及産 て動び業 る判 及産体 びの のに職活 権を びの及 補収 待つ業動 利受 保保び

保保その身体及び財産に対の一・一方の締約国の国民の一・一方の締約国の国民の国民の国民の関係を持続している。

(c)

他方の締約国

の国民の外国人登録

で差別的なものであつてはならない。

る。各締約国は、自国の領域内において、他方の締約国の国民と第三国の国民との間に対し、事業活動及び職業活動に関連する事項について、公に対し、事業活動及び職業活動に関連する事項について、公正かつ衡平な待遇を与えるものとし、との待遇は、いかなる正かつ衡平な待遇を与えるものとし、との待遇は、いかなるを行う権利を享有する。

待遇を与えられる。待遇を与えられる。ものは、公共のためにする場合でない限り、他方の締約国の領域内において、いかなる場合に質に関し、他方の締約国の領域内において、いかなる場合には使用してはならない。第一文の規定を害することなく、一は使用してはならない。第一文の規定を害することなく、一当かつ効果的な補償が支払われない限り、強制的に収用し又当かつ効果的な補償が支払われない限り、また、迅速、適ものは、公共のためにする場合でない限り、また、迅速、適ものは、公共の活動の国民の財産で他方の締約国の領域内にあるも、一方の締約国の国民の財産で他方の締約国の領域内にあるも、

国民」の

5

1から4までにおいて、

「国民」には、

女脈により別に解

In paragraphs 1,

2 3

and 4 of this Article,

nationals of the other Contracting

(c) the registration as aliens of nationals of the other Contracting $\mbox{\it Party.}$

ARTICLE I

1. The nationals of one Contracting Party shall enjoy within the territory of the other Contracting Party constant and complete protection and security for their persons and property.

The nationals of one Contracting Party shall

2. The nationals of one Contracting Party shall enjoy within the territory of the other Contracting Party access to courts of justice and tribunals in accordance with law.

3. Each Contracting Party shall accord within its territory to the nationals of the other Contracting Party fair and equitable treatment with respect to matters relating to their business and professional activities, provided that in no case shall such treatment be discriminatory between nationals of the other Contracting Party and nationals of any third country.

4. The property of nationals of one Contracting Party within the territory of the other Contracting Party within the territory of the other Contracting Party shall not be compulsorily taken unless for a public purpose and unless prompt, adequate and effective compensation is paid. Without prejudice to the foregoing, with respect to all matters dealt with in this paragraph, the nationals of one Contracting Party shall be accorded within the territory of the other Contracting Party treatment which shall in no case be discriminatory between those nationals and nationals of any third country.

釈すべき場合を除くほか、会社を含む。

所有されているものとの間の関係について適用されるものと 配され又はそれに関する利益の過半が直接に若しくは間接に つて第三国の国民又は会社により、 ている要件は、 されている待遇を与えられる。ただし、3及び4に規定され 方の締約国の領域内において、 1から4までにおいて取り扱われている事項に関 により、 の過半 が直接に若しくは間接に所有されているもの 直接に若しくは間接に支配され又はそれに関する 約国の会社であつて、 これらの会社と当該一方の締約国の会社であ それぞれ1から4までに規定 他方の締 直接に若しくは間接に支 : 約国の国民又は会 į 当該 は、

第十条

させるため、 易及び通商関係の発展に重要な役割を果たすことを認識 両締約国は、 両締約国が共に当事国である国際協定の目的及び原則に留 公正なかつ相互に有利な基礎の上に両国間の海運を発展 相互の協力を促進する。 両国 間の国際海運活動が両締約国間の経済、 į ま 貿

第十一条

するため、 両締約国 は、 との条約の一般的な運用状況を定期的に大臣間で検 との条約の目的が十分に達成されることを確保

オーストラリアとの友好協力基本条約

般的運用

except where the context otherwise requires. the term "nationals" shall include companies

of this Article, the treatment prescribed or companies of the other Contracting Party or in which more than one half of the interests any third country. or indirectly, by nationals or companies of one half of the interests are owned, directly directly or indirectly, or in which more than scribed in paragraphs 3 and 4 shall be applied therein; provided that the requirement prematters dealt with in paragraphs 1, 2, 3 and 4 shall be accorded within the territory of the are owned, directly or indirectly, by nationals which are controlled, directly or indirectly, 6. The companies of one Contracting Party as between such companies and companies of the former Contracting Party, with respect to former Contracting Party which are controlled,

objectives and principles of international are parties, shall promote mutual co-operation agreements to which both Contracting Parties mercial relations, and bearing in mind the development of their economic, trade and comtwo countries play a significant role in the two countries on a fair and mutually advantagefor the development of shipping between the international shipping activities between the The Contracting Parties, recognising that

ARTICLE

operation of the present Treaty with a view to review, at the ministerial level, the general The Contracting Parties shall periodically

オ

影に定現 定のの で で で が ま力協

間

及のにず連条 のいつる 協入い問てに 議れて題生関

討状況の検

計する o

第十二条

する。両締約国は、適当な場合には、当該問題に関し協議する。 とのような申入れに対しては、 問題に関し、 各締約国 は、 他方の締約国に対し申入れを行うことがで きる。 この条約の実施から又はこれに関連して生ずる 好意的な考慮が払われるものと

第十三条

との条約 において有効な諸協定の効力に影響を及ぼすものでは のいかなる規定も、 この条約の署名の日に両締約国 ない。

第十 四条

2 1 ら十二箇月を経過するまで効力を有するものとする。 に対しこの条約を終了させる意思を文書により通告する日か 生ずる。この条約は、 る限り速やかにキャンベラで交換するものとする。 この条約は、批准書の交換の日の後三十日目の日に効 この条約は、批准されなければならない。批准書は、 いずれか一方の締約国が他方の締約国 の力を でき

以上の証拠として、前記の全権委員は、 との条約に署名調印

末

文

した。

ensuring that the purposes of the Treaty are being fully realised. present

ARTICLE XII

consideration. mentation of the present Treaty. Any such arising out of or in connexion with the impletions to the other Contracting Party on matters ing Parties shall consult together on such representations shall receive sympathetic Each Contracting Party may make representa-Where appropriate the Contract-

ARTICLE XIII

matters.

signature of the present Treaty between the Contracting Parties at the date of the validity of agreements which are in force Nothing in the present Treaty shall affect

ARTICLE XIV

exchange of the instruments of ratification. on the thirtieth day after the date of the exchanged at Canberra as soon as possible. Contracting Party gives to the other Contracttwelve months from the date on which either It shall remain in force until the expiry of the instruments of ratification shall be The present Treaty shall be ratified and terminate the present Treaty. ing Party written notice of its intention to The present Treaty shall enter into force

potentiaries have signed the present Treaty and have affixed thereto their seals. IN WITNESS WHEREOF the abovenamed Pleni文

本語及び英語により本書二通を作成した。 日本国のために 千九百七十六年六月十六日に東京で、ひとしく正文である日 三木武夫

For Japan:

For

Australia:

June one thousand nine hundred and seventy-

authentic, at Tokyo, this sixteenth day of English languages, each text being equally

DONE in duplicate, in the Japanese and

オー ストラリアのために ルコ ム・フレーザー

議定書

約」という。)に署名するに当たり、 日本国とオーストラリアとの間の友好協力基本条約 (以下「条 下名の全権委員は、各自の

更に、

条約の不可分の一部と認め

1 条約のいかなる規定も、

られる次の規定を協定した。 政府から正当に委任を受け、

(a) n の一方の締約国に対しても、与えるものではない。 次の待遇、特恵又は特権の享受を要求する権利を、 いず

オ

ーストラリアとの友好協力基本条約

Malcolm Fraser

Takeo Miki

ments, have further agreed on the following duly authorised by their respective Governparts of the Treaty: provisions, which shall be considered integral (a) entitle either Contracting Party to claim Nothing in the Treaty shall Treaty"), the undersigned Plenipotentiaries, Australia (hereinafter referred to as "the Friendship and Co-operation between Japan and At the time of signing the Basic Treaty of

四七

or privilege -

the benefit of any treatment, preference

- (i) えているか、又は将来与える待遇、 該開発途上にある国又はその国民若しくは会社に対し与 は取極により、経済開発又は技術援助の目的のために当 他方の 締約国 が、 開発途上にある国との特別の協定又 特恵又は特権
- (ii) 待遇、特恵又は特権 避若しくは脱税の防止のための協定により与えているか、 又は将来与える租税に関する特別の利益の性質を有する 他方の締約国が、 相互主義に基づき又は二重課税の回
- (ننة) 関する待遇、 の国民に与えているか、又は将来与える旅券又は査証に 他方の締約国が、 特恵又は特権 特別の協定又は取極により、 第三国
- (b) アに対し与えるものではない。 有する者にのみ日本国が与えているか、又は将来与える待 がすべての権利、 された日本国との平和条約第二条の規定に基づいて日本国 千九百五十一年九月八日にサン・フランシスコ市で署名 特恵又は特権の享受を要求する権利を、 権原及び請求権を放棄した地域に原 オーストラリ 籍 を
- (c) (i) 国に対し与えるものではない。 次の待遇、 て、当該他国の英連邦構成員としての地位に由来するも えているか、又は将来与える待遇、 オーストラリアが他国又はその国民若しくは会社に与 特恵又は特権の享受を要求する権利を、 特恵又は特権であつ 日本

- (i) that the other Contracting Party has with that developing country for the special agreements or arrangements nationals or companies by virtue of any developing country or to its purpose of economic development or accorded or may hereafter accord technical assistance;
- (ii) in the nature of special tax advantages fiscal evasion; or taxation or for the prevention of agreements for the avoidance of double basis of reciprocity or by virtue of accorded or may hereafter accord on a that the other Contracting Party has
- (iii) relating to passports or visas which nationals of any third country by arrangements; virtue of special agreements or accorded or may hereafter accord to the other Contracting Party has
- <u>.</u> (b) entitle Australia to claim the benefit of entitle Japan to claim the benefit of any which is or may hereafter be accorded by on 8 September 1951; or Japan signed at the city of San Francisco Article 2 of the Treaty of Peace with title and claim were renounced by Japan in the territories to which all right, Japan exclusively to persons who originated any treatment, preference or privilege in accordance with the provisions of
- (i) to any country or to its nationals is or may hereafter be accorded by treatment, preference or privilege which preference or privilege originates companies, where that treatment,
- Commonwealth of Nations; from that country's membership of the

オ

1

スト

ラリアとの友好協力基本条約

3

条約の適用上、「会社」とは

利及び義務に影響を及ぼすものではない。

2

民若しくは会社に与えているか、又は将来与える 符 遇、オーストラリアが、パプア・ニューギニア又はその国特権 は会社に与えているか、又は将来与える待遇、特恵又はは会社に与えているか、又は将来与える待遇、特恵又は

(iii)

(11)

者若しくは会社に与えているか、又は将来与える 待遇、責任を有するいずれかの非本土地域又はその地域の居住例 条約の署名の日にオーストラリアが国際関係について特恵又は特権 民若しくは会社に与えているか、又は将来与える 待遇、民若しくは会社に与えているか、又は将来与える 待遇、

特恵又は特権

び貿易に関する一般協定、 協定又は両締約国が共に当事国であるその他の関連のある多 数国間協定の当事国として有しているか、 機構条約若しくはそれらを修正し若しくは補足する多数国間 条約のいかなる規定も、 リアと当該第三国との間の移住に関する特別の協定によ 又はそのような入国に付随する事項につき、 リアへの移住者であるものに対し、そのような移住者が り与えているか、 居住のためにするオーストラリアへの入国に関する事項 オーストラリアが、第三国又はその国民でオーストラ 又は将来与える待遇、特恵又は特権 国際通貨基金協定、 いずれか一方の締約国が、 又は将来有する権 経済協力開発 オーストラ 関税及

> (ii) to Ireland or to its nationals or companies;

- (iii) to Papua New Guinea or to its nationals or companies;
- (iv) to any non-metropolitan area for the international relations of which Australia is responsible at the date of signature of the Treaty, or to its residents or companies; or
- (v) to any third country or to its nationals who are migrants to Australia, by virtue of a special agreement on migration between Australia and that country, with respect to matters relating to the entry into Australia for residence of such migrants or matters incidental to such entry.
- 2. Nothing in the Treaty shall affect the rights and obligations that either Contracting Party has or may hereafter have as a party to the General Agreement on Tariffs and Trade, the Articles of Agreement of the International Monetary Fund, the Convention on the Organisation for Economic Co-operation and Development or any multilateral agreement amending or supplementing them, or other relevant multilateral agreement both Contracting Parties are parties.

 3. For the purposes of the Treaty, the term "companies"
- "companies" -

末

文

た。

(a) ている法律に基づいて設立された法人をいう。 締約国に関しては、

オーストラリアとの友好協力基本条約

(b) る法律に基づいて設立された法人をいう。 第三国に関しては、その国の領域において施行されてい

以上の証拠として、各全権委員は、 この議定書に署名調印し

本語及び英語により本書二通を作成した。 千九百七十六年六月十六日に東京で、ひとしく正文である日

日本国のために 三木武夫

ォ ١ ストラリアのために ルコム・フレーザー

その締約国の領域において施行され (a) in relation to a Contracting Party means

(b) in relation to any third country means the laws in force in the territory of that legal persons incorporated pursuant to that Contracting Party; and the laws in force in the territory of legal persons incorporated pursuant to

country.

and have affixed thereto their seals. tentiaries have signed the present Protocol IN WITNESS WHEREOF the respective Plenipo-

Six. June one thousand nine hundred and seventyauthentic, at Tokyo, this sixteenth day of Japanese languages, each text being equally DONE in duplicate, in the English and

For Japan:

For Australia:

Takeo Miki

Malcolm Fraser

書簡ラリア側 オースト

7 ーストラリア側書簡 (}

ストラリアの非本土地域に関する交換公文)

(訳文)

る光栄を有します。 たオーストラリアと日本国との間の友好協力基本条約に言及す 同条約は、オーストラリアに関しては、オーストラリアの本 書簡をもつて啓上いたします。本全権委員は、本日署名され

あることを貴国政府に代わつて確認されれば幸いであります。 本全権委員は、閣下が、前記の了解が日本国政府の了解でも 任を有するいずれの非本土地域にも適用されないことが、オー 土地域のみに適用され、オーストラリアが国際関係について實

ストラリア政府の了解であります。

K 向かつて敬意を表します。 本全権委員は、以上を申し進めるに際し、 千九百七十六年六月十六日に東京で ことに重ねて閣下

ォ ١ ストラリア全権委員 n J フレ ーザ ı

日本国全権委員 三木武夫閣下

オ

1

ストラリアとの友好協力基本条約

(Australian Note)

Tokyo, 16 June 1976

Excellency,

Australia and Japan signed today. Treaty of Friendship and Co-operation between I have the honour to refer to the Basic

relations of which Australia is responsible. metropolitan areas for the international area of Australia and not to any of the non-Treaty will apply only to the metropolitan of Australia that, as regards Australia, the It is the understanding of the Government

Government that the foregoing is also the would confirm on behalf of Your Excellency's understanding of the Government of Japan. I should be grateful if Your Excellency

consideration. to Your Excellency the assurance of my highest I avail myself of this opportunity to renew

Malcolm Fraser

Plenipotentiary of Australia

His Excellency Plenipotentiary of Japan Mr. Takeo Miki

日 本側書簡

オ

ーストラリアとの友好協力基本条約

をもつて啓上いたします。本全権委員は、本日付けの

下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。 書簡 本全権委員は、本日署名されたオーストラリアと日本国 閣

本土 オーストラリア政府の了解であります。 て責任を有するいずれの非本土地域にも適用されないことが、 の 間 同 条約は、 地域のみに適用され、 の友好協力基本条約に言及する光栄を有します。 オーストラリアに関しては、オーストラリアの オーストラリアが国際関係につい

す。 もあることを貴国政府に代わつて確認されれば幸いでありま 本全権委員は、閣下が、 前記の了解が日本国政府の了解で

に向 ることを日本国政府に代わつて確認する光栄を有します。 本全権委員は、 本全権委員は、以上を申し進めるに際し、 かつて敬意を表します。 更に、 前記の了解が日本国政府の了解でも ととに重ねて閣下 ぁ

千九百七十六年六月十六日に東京で

本国 全権委員 三木武夫

ォ トラリア全権委員

マ n コム・フレ ١ ザ 1 閣下

(第八条に関する交換公文)

7 ١ ス

トラリア側書簡)

オーストラリア政府に代わつて確認する光栄を有します。 言及するとともに、両政府の代表者の間で到達した次の了解を たオーストラリアと日本国との間の友好協力基本条約第八条に 書簡をもつて啓上いたします。本全権委員は、 本日署名され

1 間当該領域に滞在することを許可する。 国の領域に入国する他方の国の国民が、 各政府は、関係法令に従つて、 商用目的のため一時的に自 当初、 百八十日の 期

2 年の子について、これらの者の在留期間の決定に当たり、 法令の範囲内でできる限り好意的に取り扱う意向を有する。 領域に入国するもの並びにその者の配偶者及び未婚の未成 各政府は、 他方の国の国民で次に掲げる目的のために自国 関

(b) 動を行う目的 企業を発展させ又は企業の運営を指揮する目的

(a)

両国間において貿易を営み、又はこれに関連する商業活

(c) 外国人の入国及び滯在に関する法令が認めるその他の目

(Australian Note)

Tokyo, 16 June 1976

Excellency,

Governments: reached between the representatives of the two ment of Australia, the following understanding today and to confirm, on behalf of the Governoperation between Australia and Japan signed of the Basic Treaty of Friendship and I have the honour to refer to Article VIII

of the other country entering its territory with the relevant laws and regulations, nationals eighty days. in initially for a period of one hundred temporarily for business purposes to stay there-1. Each Government shall permit, in accordance

period of stay laws and regulations, when determining their as possible, within the scope of the relevant and their unmarried minor children as favourably for the following purposes and their spouses of the other country entering its territory Each Government intends to treat nationals

- (a) for the purpose of carrying on trade for the purpose of developing or in related commercial activities; between the two countries or engaging enter.
- (c) (b) for other purposes recognised directing the operations of an laws and regulations relating

entry and

sojourn of aliens.

ォ

的

3 各政府は、1及び2にいら他方の国の国民が、現に有する

在留資格を変更することなく在留期間の更新を申請する場合 には、関係法令の適用に当たり、差別的な措置をとらず、か

向を有する。 つ、このような申請に対しできる限り好意的な考慮を払う意

されれば幸いであります。 本全権委員は、閣下が前記の了解を貴国政府に代わつて確認

に向かつて敬意を表します。 本全権委員は、以上を申し進めるに際し、

ことに重ねて閣下

千九百七十六年六月十六日に東京で

ォ 1 ストラリア全権委員

ルコム・フレーザー

日本国全権委員 三木武夫閣下

> cations as favourable consideration as possible of the period of stay under their current of the other country referred to in paragraphs take discriminatory measures when the nationals of the relevant laws and regulations, not to 3. Each Government intends, in the application behalf of Your Excellency's Government. would confirm the foregoing understanding on authorised status, and to give to such applil and 2 above file applications for the renewal I should be grateful if Your Excellency

五四

consideration. to Your Excellency the assurance of my highest I avail myself of this opportunity to renew

Malcolm Fraser

Plenipotentiary of Australia

His Mr. Takeo Miki Excellency

Plenipotentiary of Japan

(日本側書簡)

下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。 書簡をもつて啓上いたします。本全権委員は、本日付けの閣

(オーストラリア側書簡)

政府に代わつて確認する光栄を有します。 本全権委員は、更に、閣下の書簡に述べられた了解を日本国

に向かつて敬意を表します。本全権委員は、以上を申し進めるに際し、 ととに重ねて閣下

日本国全権委員

千九百七十六年六月十六日に東京で

三木武夫

ォ

I

ストラリア全権委員

マルコム・フレーザー閣下

合意された議事録

日本国及びオーストラリアの全権委員は、 本条約(以下「条約」という。)及びこれに関連する文書に関し、 本日署名された日本国とオーストラリアとの間の友好協力基 次の了解をここに記

録する。

1 S 条3の規定は、いずれの一方の国に対しても、 とが確認される。この場合において、条約第八条1及び第九 三国の国民に与えられる待遇よりも不利でない待遇であるこ ではないことが了解される。 `れた待遇を他方の国の国民に与えることを何ら要求するも てもはや実施されていない政策の下で第三国の国民に与え 条約第八条1及び第九条3に規定する待遇は、 その時点に 実際 Ļ 第 お

つるに第条条 い待規九1約 て遇定条及第 のにす3び八

2 益を含む。 条約第九条にいり「財産」には、 それに関する権利及び利

釈産条条 の 一第解財九

3 研究及び調 項」には、すべての種類の租税、 に係る事業活動及び職業活動の遂行を含む。 投資活動並びに 条約第九条3にいり「事業活動及び職業活動に関連する事 査、 契約の締結及び履行、 一般にあらゆる種類の商業、 手数料又は課徴金の賦課、 財産権、 会社への参加 金融業等

に職活う条条 関業動「3約 連活及事に第 す動び業い九

に関し、 条約第九条の規定は、 財産の差押え又は没収に関する法令を制定し、 法律に対する違反容疑又は違反行為 及び

条の規定 条約第九

のる解事

釈項

AGREED MINUTES

ments related thereto, the Plenipotentiaries following understandings: of Japan and of Australia hereby record the "the Treaty") signed today and the instruand Australia (hereinafter referred to as Friendship and Co-operation between Japan In connexion with the Basic Treaty of

of the other country treatment which has been under policies which are then no longer accorded to nationals of any third country require either country to accord to nationals understood that these provisions in no way to nationals of any third country, it being which is no less favourable than that accorded Article VIII and paragraph 3 of Article IX of the Treaty will in effect be treatment scribed in the provisions of paragraph lof 1. It is confirmed that the treatment pre-

2. The term "property" used in Article IX therein. the Treaty includes rights and interests

of contracts, rights to property, participation study and research, the making and performance of Article IX of the Treaty comprises the professional activities" used in paragraph 3 as well as professional activities. dustrial, financial and other business activities levying of taxes, fees or charges of any kind, 3. The term "matters relating to business and ly the conduct of all types of commercial, incompanies, investment activities and general-

way the right of either country to make pro-4. The provisions of Article IX of the Treaty

ブア

5

協

議

るため する は 規 規 関 す に ド に ド

解される。 るか否 ۲ K アに対し与えられる待遇を条約の規定の対象とすべきてあ かんがみ置かれているものであり、 ーストラリアとパプア・ニ ラリ ,ア政府 かを検討するために、 は、 ォ 1 ・スト ラリアにより、パプア・ニ 将来、 _ _ ! ギ 相互に協議することが了 = アとの 日本国 [政 間 府及び の関係 オー の現状 2 Į ス ギ

そのような法令を適用するいずれの一方の国の権利にも なる影響をも及ぼすものとは解されない。 約 の議定書1中のパプア・ = 2 ギニ アに関する規定は、 S か

令 条約第八条に関する交換公文にいり「関係法令」及び「 には、 行政上の手続を含む。 法

6

Guinea should fall within the scope of the provisions of the Treaty. treatment accorded by Australia to Papua New other with a view to examining whether the ments of Japan and Australia will consult each Papua New Guinea and that in future the Governing state of relations between Australia and to the Treaty is made in view of the now exist-

Papua New Guinea in paragraph 1 of the Protocol 5. It is understood that the reference to legislation.

or breaches of its laws and to apply such forfeiture of property for suspected breaches vision in its legislation for the seizure or

6. The terms "the relevant laws and regulations" the Treaty include administrative procedures. Exchange of Notes relating to Article VIII of and "the laws and regulations" used in the

7 当事国である貿易に関する他 留意される。 が与えるべき具体的待遇に関 条約が 一両国間の貿易の重要性 一の協定に定められていることが する両国 を認識していること及び両国 間の取決めは、 両国 が

8 る符遇の利益を、条約の規定に基づき要求する場合には、 数国間協定の下で他方の国が与えており又は与えることがあしすれカーチの国か、その国が当事国でないいずれかの多 ゚゚)を考慮に入れて、 一の政府は、 いずれか一方の国が、その国が当事国でないいずれ 関連のある事情 当該利益が条約の規定の対象となるも (当該多数国間協定の性質を含 両

countries and that arrangements between Japan account the relevant circumstances, the provisions of the Treaty, taking into the benefit claimed falls within the scope of countries will consult together as to whether is not a party, the Governments of the two under any multilateral agreement to which it treatment accorded or which may be accorded provisions of the Treaty, the benefit of any 8. If either country claims, on the basis of trade, to which they are parties. in other agreements, specifically related to be accorded by the two countries are prescribed and Australia regarding specific treatment to importance of trade matters between the two 7. It is noted that the Treaty recognises the

千九百七十六年六月十六日に東京で

т • м

M • F

M.F.

T.M.

the character of the multilateral agreement in question.

Tokyo, 16 June 1976

五八

とおり記録する。 本条約に関し、日本国及びオーストラリアの全権委員は、 本日署名された日本国とオーストラリアとの間の友好協力基 次の

び第九条に関し、それぞれの国が自国の資源及び産業に対する あるというのがオーストラリアの立場である旨述べた。 つ効率的な開発に関して有する願望を、 所有及び支配並びに自国の鉱物及びエネルギー資源の合理的か オーストラリア政府の代表者は、 特に条約第六条、 両政府が考慮すべきで 第七条及

代表者の発言に留意する旨述べた。 これに対し、日本国政府の代表者は、 オーストラリア政府の

千九百七十六年六月十六日に東京で

T • M M F

(参

考)

この条約は、

日豪両国間の友好及び協力の関係を一層促進するために締結されたものである。

オーストラリアとの友好協力基本条約

. ¥

RECORD OF DISCUSSION

tentiaries of Japan and of Australia wish and Australia signed today, the Plenipo-Friendship and Co-operation between Japan to record the following: In connexion with the Basic Treaty of

the two Governments. resources were to be taken into account by development of its mineral and energy industries and to the rational and efficient ownership and control of its resources and tions of each country in relation to the it was Australia's position that the aspira-Australia stated, with particular reference to Articles VI, VII and IX of the Treaty, that The representative of the Government of

Government of Australia. statement of the representative of the Government of Japan stated that he noted the In response, the representative of the

Tokyo, 16 June 1976

五九